



図1. (左図) ヨシノミヤアブラムシの虫こぶ。(右図) ヨシノミヤアブラムシの生活史。
50~200匹ほどいる無翅成虫が、虫こぶが裂開する4月から5月にかけて防衛を行う。



図2. ヨシノミヤアブラムシの無翅成虫による防衛行動。捕食者の攻撃を受けた無翅成虫は、腹部から液体を放出する。液体は透明で流動性を持つが、数秒で白く濁り凝固する。